2017 年 9 月 7 日

プレスリリース

シリコン・ラボ、磁気センサの新製品「Si72xx」ファミリを発表

IoT 時代のホール効果スイッチと位置検出を刷新し、産業、家電、自動車設計向けに電力効率、感度、使いやすさ、耐タンパの強化に貢献

シリコン・ラボラトリーズ（本社: 米テキサス州オースチン、Nasdaq: SLAB、以下: シリコン・ラボ）は、業界をリードする電力効率、クラス最高の感度、柔軟な I^2C 設定、組み込みの耐タンパと温度検知を刷新した、磁気センサ・ポートフォリオの新製品「Si72xx」ファミリを発表しました。Si72xx ポートフォリオには、広範な開閉用途や位置検出用途で使用する、リード・スイッチや従来のホール効果装置を凌駕する、機能豊富な最先端の磁気センサが含まれています。Si72xx 磁気センサは、電化製品、産業アラーム、モーター制御、扉/窓のセキュリティなどを用途として、大型家電、流量計、コードレス電動工具、回転式およびダイヤルタイプのコントロールのソリッドステートな信頼性を高めます。Si72xx は自動車用途の AEC-Q100 適格であり、過酷な産業環境に対する耐久性を備えています。

業界標準の 3 ピン/5 ピン SOT-23 パッケージで供給される Si72xx ファミリは、サンプル及び量産共に対応しています。また、Si72xx-WD-KIT ホイール・デモ・キットをご用意しています。Si72xx センサの低消費電力、高感度、高精度を示すこのデモ・キットには、予めプログラムされた EFM32 Happy Gecko スターター・キット、ホイール・デモ拡張ボード、Si72xx の各種センサを評価する 6 種類の郵便切手サイズのボードが含まれています。 Si72xx 製品ファミリ及びデモ・キットの価格・納期については、シリコン・ラボの国内販売代理店にお問合せください。製品の詳細に関する情報は、こちらをご参照ください（www.silabs.com/magnetic-sensors）。

シリコン・ラボの Si72xx センサは、高い電力効率とコスト効率が求められる用途でも、適切な磁気センサ・ソリューションの選択を可能にします。リード・スイッチは消費電力が低いのが利点ですが、場所を取り、信頼性も高くありません。一方ホール効果センサは、ソリッドステートな信頼性を備えていますが、消費電力が高くなっています。また従来型のホール効果設計は、IoT 用途で使用する他の新しいタイプのセンサに比べて、プログラム可能機能と高度な機能が不足しています。Si72xx センサは、リード・スイッチの電力効率とホール効果センサの信頼性を組み合わせ、高度な機能、高感度、柔軟な設定を提供することで、このような課題に応えます。

超低電力：開発者はバッテリ駆動システムに、バッテリ寿命に影響しない、信頼性に優れたホール効果ベースのセンサを追加できるようになりました。Si72xx センサは、スリープ時電流 100 nA 未満、5 Hz サンプリング・レート 400 nA 未満で動作するため、小さいサイズのバッテリでも、数年から 10 年に及ぶバッテリ寿命を確保できます。

高感度：Si72xx センサの高感度（Bop：1.1 mT）により、設計内の磁気を 50～80%、また検出範囲を 2 倍以上拡張することが可能です。

柔軟な設定：Si72xx センサは I²C インターフェイスで簡単に設定、測定、制御できるため、設計と最終製品の柔軟性が大幅に向上します。I²C インターフェイスを使用すれば、センサへの問い合わせを継続的ではなく必要に応じて行うことができ、センサの位置検出用途の電流が劇的に低減します。

高度な機能：Si72xx センサには、セキュリティのバイパスを検出するためのタンパ検知しきい値機能など、さまざまな有益な機能が組み込まれています。ほとんどのリード・スイッチやホール効果センサ・ベースのセキュリティ・システムでは、強い外部磁場による故障が発生します。Si72xx センサの干渉検出テクノロジーでは異常な磁場が検出され、組み込みのセルフテスト・モードによって、センサの継続的かつ正確な動作が確保されます。Si72xx センサは±1℃単位の正確な温度センサを備えているため、別個の温度センサが不要であり、システムのサイズとコストの削減と機能向上が容易になります。

Si72xx センサ・ポートフォリオの 3 製品ファミリ

- Si720x ファミリは、多様なサンプリング・レートと感度で、デジタル出力スイッチとラッチ機能をサポートします。Si720x センサは、定期的なオン・オフ信号と磁場の変更を必要とする用途に最適です。
- Si721x ファミリは、磁場の強度に比例する信号を発する位置検出用途の線形出力装置を備えています。Si721x センサは、自動車用通信向けのアナログ、パルス幅変調（PWM）、SENT プロトコルなど、多様なゲインと出力タイプをサポートしています。
- Si7210 ファミリの I²C 設定可能センサは、他の 2 つのファミリのすべての特徴と機能を備え、さらに設計上の比類ない柔軟性とプログラム可能性を実現しています。

シリコン・ラボで IoT 製品担当シニア・マーケティング・ディレクターを務める Tom Pannell はこうコメントしています。「Si72xx ポートフォリオの超低電力、高感度、柔軟性、設定の多様性、各種機能に匹敵する製品は、現在のホール効果センサ市場には存在しません。シリコン・ラボの包括的なポートフォリオにより、開発者は用途に適したタイプの磁気センサを選択して、広範かつ高度な位置検出製品をスピーディーかつ低コストで設計、テスト、導入できるようになります。バッテリ寿命も大幅に伸びます」

シリコン・ラボラトリーズについて

シリコン・ラボラトリーズ（略称: シリコン・ラボ、NASDAQ: SLAB、本社: 米テキサス州オースチン、www.silabs.com）は、IoT（モノのインターネット）、インターネット基盤、産業オートメーション、民生及び自動車市場向けにシリコン、ソフトウェア、及びシステム・ソリューションを提供する業界大手メーカーです。シリコン・ラボは、エレクトロニクス産業の困難な課題を解決し、性能、省エネルギー、コネクティビティ、設計の簡素化の面で大きなメリットをお客さまにご提供します。ソフトウェア及びミックスドシグナル設計の分野で、卓越した技術力を有する世界クラスのエンジニアリング部門を擁することで、シリコン・ラボは製品開発に携わる皆さまに、初期構想から最終製品に至るまでのプロセス改善に必要なツールをご提供します。会社概要・事業内容の詳細は www.silabs.com をご覧ください。

ご注意

このプレスリリースには、シリコン・ラボラトリーズ社の現時点における期待に基づく予測が含まれていることがあります。このような発言にはリスクと不確実性が伴います。様々な重要な要素が原因となって、予測とは異なる結果になることもあります。シリコン・ラボラトリーズ社では、投資家の方々に社の将来性をお伝えすることが重要と考えます

が、正確な予測や管理が不可能な事態が今後発生するかもしれません。シリコン・ラボラトリーズ社の財務成績に影響を与え、実績が将来的記述と著しく異なる場合の要因の詳細については、シリコン・ラボラトリーズ社が米国証券取引委員会(SEC)へ最近提出した書類をご覧ください。

Silicon Laboratories, Silicon Labs, S ロゴ, Silicon Laboratories ロゴ, Silicon Labs ロゴは、Silicon Laboratories Inc.の商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。

＃＃＃

報道関係者お問合せ先
シリコン・ラボラトリーズ Dale Weisman (グローバル広報マネージャ)
TEL:（米国）1-512-532-5871、E メール: dale.weisman@silabs.com
公式ニューズルーム http://news.silabs.com,
公式ブログ http://blog.silabs.com,
公式 Twitter アカウント http://twitter.com/silabs,
公式 Facebook アカウント http://facebook.com/siliconlabs,
公式 LinkedIn アカウント www.linkedin.com/company/siliconlabs,
ミアキス・アソシエイツ 河西 E メール: kasai@miacis.com

記事ご掲載時のお問合せ先
シリコン・ラボラトリーズ Y.K.
TEL: 03-5460-2411(代表)
http://jp.silabs.com

株式会社マクニカ テクスターカンパニー
〒222-8561 横浜市港北区新横浜 1-6-3 マクニカ第 1 ビル
Tel: 045-470-9841 FAX: 045-470-9844
お問合せ: https://www.macnica.co.jp/qsmail/tsc/
http://www.tecstar.macnica.co.jp/

以上